

令和元年度 統一的な基準による 岩内町一般会計等の財務書類について

■地方公会計財務書類とは

町の資産の状況や資金・純資産の動きを民間企業が行っている複式簿記の方式を用いて、4つの財務書類に表したものです。

平成27年度決算から総務省の統一的な基準により作成しています。

この表をさらに分析したり、他の町と比較することで、改善すべきところが見えてくるなど、健全な財政運営への効果が期待できます。



■貸借対照表

左側は、町が持っている土地や建物・お金などの資産を、右側は、その資産を借金をして持っている資産（負債）と純粋な資産に分けて表しています。

資産の部		負債の部	
公共資産 庁舎、学校、美術館や 道路、橋、公園などの資産	2,376,507 万円	固定負債（町債など）	1,044,309 万円
		流動負債（短期の借入金など）	122,253 万円
投資等 投資や出資金、基金など	99,388 万円	負債の合計 A	1,166,562 万円
		純資産の部	
流動資産 現金や未収金など	28,268 万円	純資産の合計 B	1,337,601 万円
資産合計	2,504,163 万円	負債及び純資産の合計(A+B)	2,504,163 万円

■資金収支計算書

町の資金が1年間でどれくらい増減したかを次の3つに分けて表しています。

H30年度末の資金残高 A	1,050 万円
R1年度の資金の動き (1+2+3) B	3,133 万円
1 経常的なもの	72,531 万円
2 資本的なもの	△ 19,825 万円
3 町債の借入や返済など	△ 49,573 万円
R1年度末の資金残高(A+B)	4,183 万円

■純資産変動計算書

純資産が1年間でどれくらい増減したかを次の3つに分けて表しています。

H30年度末の純資産残高 A	1,336,273 万円
R1年度の純資産の動き (1+2+3) B	1,328 万円
1 経常的な行政コストなど	△ 589,138 万円
2 純資産の調達財源	590,466 万円
3 資産の形成など	0 万円
R1年度末の純資産残高(A+B)	1,337,601 万円

■行政コスト計算書

町の経費のうち、人件費や維持補修費などの日常的な経費が1年間でどれくらいかかったのかを表しています。

経常的な支出(1+2+3+4) A	622,612 万円
1 人件費（職員給料など）	125,069 万円
2 物件費（維持補修など）	236,539 万円
3 他会計への支援、補助金など	254,594 万円
4 町債の返済金など	6,410 万円
経常的な収入 B	33,370 万円
経常的な行政コスト(A-B) C	589,242 万円
臨時的な損失 D	0 万円
臨時的な利益 E	104 万円
純行政コスト(C+D-E)	589,138 万円

■純資産の増減とは

借金を返済することで増えたり、建物の老朽化や土地の売却などで減ったりします。



■問合せ 岩内町経営企画部
企画財政課 財政係
☎0135-62-1011（内線217）